



さえきトピックス

2011年12月 第71号

WEB版

～ひとこと～

今年をふりかえって

代表取締役社長 佐伯 敏充

佐伯グループの今年一年を振り返ってみますと、例年以上にいろいろな出来事がありました。

良かった事から申し上げますと、佐伯総合においては、岐阜県優良施工者表彰、岐阜県労働局長表彰、そして労働安全衛生マネジメントシステム（コスモス）の認証取得を受けることができました。更に鐵巧においては、念願のHグレード認定を取得出来ました。これらのことは我社の日頃の取り組みに対する評価を得たことであり、品質・安全管理のレベルがワンランク向上した証と言えます。これも、社員の皆様の地道で前向きな姿勢と行動のおかげだと心から感謝致します。又、鐵巧のHグレード取得を機会に、私共のお客様に対して、工場見学会を初めて開催しましたが、これについてもお客様に大変な好評を

得たことで、多くのお客様に知って頂く事の大切さをつくづく痛感いたしました。一方、残念なことを申し上げますと、例年以上に、雨漏れ、クラックのクレームが多く、お客様に大変な迷惑をお掛けしたことです。又、佐伯グループの業績が思う様に目標を達成できなかった事でもあります。

本年度の良かった事、悪かった事を思う時に、我々はまだ、いろいろな意味で足りない部分があります。もつと、6C・5Sのレベルを上げていかなければならぬと強く感じています。多大なる評価を受けた事や、レベルが上がった事については、大いに喜び、自信を持つていいと思います。しかし、これは、佐伯グループの新たなスタートである事を忘れてはなりません。反省すべきは、しっかりと反省し、次につなげて

いきたいと思っております。

時代は大きな変革期にあります。我グループも変わらなければなりません。しかし、我グループの基本姿勢を変える訳ではありません。この基本姿勢のレベルをスピード感をもって上げるために、又追求していく為に、我社の意識を変えなければならぬという事があります。私は決して、我グループが進むべき方向は間違っていないと確信しております。

社員の皆様、本年は厳しい一年でありましたが、我グループの進むべき道をしっかりと見据え、地に足をつけて歩んで行こうではありませんか！

今年一年ありがとうございました。心から感謝申し上げます。



職場拝見



工場新築工事
 [現場担当] 尾張支店
 [設計担当] 今井 清美・高橋 豊

最新式の電気炉を装備した鋳物工場です。給排気、集塵等の機械設備関係の対応が大変でした。



事務所増築工事
 [現場担当] 可児支店



○ 邸新築工事
 [現場担当] 尾張支店

地盤が法面(斜面)で搬入路も狭く、基礎を作るのに苦労しました。



福祉施設 新築工事
 [現場担当] 尾張支店

きエコ
Sa・ECO Vol.5

企画営業部

1日から企業や一般家庭などを対象とした政府による冬の節電要請が始まりました。期間は来年3月末までの4か月間です。震災による被害に加え、定期検査を終えた原発が再稼働できない状態が続き、電力不足が懸念されているためです。

冬場は暖房のため一日を通して電力が使用され、朝夕にピークがあるので、夏場のように日中を中心に削減するだけでは電力不足を解消できないので、夏よりも厳しい長丁場の節電努力を迫られそうです。

2つのピークは『通勤時間帯の午前9時台』と、『照明が一齐点灯される午後5時台』です。わが社においては、この夏、皆様のご協力の甲斐あって節電の効果が、はっきり表れました。各事業所ごとに消費電力量をモニタリングし、グラフ化して公開されましたので、結果はご承知の通りです。

夏同様、いよいよ本格化する木枯らしの季節も、『節電の季節』と読み替えて、ウォームビズで乗り切りましょう。冬の節電は、暖房と照明の上手な使い方がポイントになります。資源エネルギー庁によると、

①室温は20度を目安にしてエアコンの設定温度を2度下げると最大電力を7%削減できる。

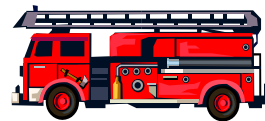
②照明の節電効果が高く、照明時間を4分の1減らせれば、4%の削減につながる。

との事です。さらに、こんなものもあります。

③TVの画面の輝度を下げ、必要な時以外は消す。※標準→省エネモードに設定し、使用時間を2/3に減らした場合、2%削減できる。

今週からマイ・『ノー残業デー』を決めて、家族と一緒にテレビを付けずに夕食をとってはいかがですか。...

防災訓練



2011年12月6日（火） 本社・鐵巧合同防災訓練の様子

【第1部】初期消火訓練・避難訓練

【第2部】消火訓練実演（消防署長より指導）



東日本大震災を教訓に震災に備えた防災訓練を実施しました。

認証済みISO・コスモス等のマネジメントシステムのマニュアルに「緊急事態の対応手順」がありますが、実際に災害が発生した場合に「手順どおり対応できるのかどうか？」また、「その手順が有効なものかどうか？」についても訓練を通じて検証する事が出来ました。実際には、マニュアル以外に対応手順（要領）書を作成し実施しましたが、実施後、多数の課題が確認できました。

- ①事前の避難経路特定（安全通路の確保）
- ②消防設備の非常電源確保
- ③事前の役割分担決定④常備する備品・機材の有無など。

今回の訓練で得た最大の効果は、訓練の時点で問題点が明確になった事です。各職場においても日常的にリスクアセスメントやKY活動などで事前に危険箇所を特定し対策を実施していますが、実作業中に効果を確認する事は難しい事だと思います。訓練目的はいつでも対応できるように習慣化する事と対応手順が効果的で問題が無かったかどうかの確認手段だと思いますので、他部門で実施する際も目的を明確にして実施して頂きたいと思います。

～編集後記～

私の今年一年をふりかえって…。子育てに忙しく動き回っていたはずなのに…体重が5kgも増えました!! (͡° ͜° ͜°)!!

来年の目標はダイエット!! みなさんはどんな一年でしたでしょうか？

(本社 佐光)